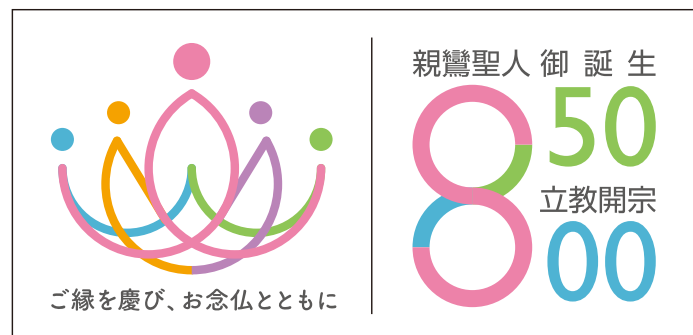


親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

団体参拝募集要綱



中央法要事務所
法要庶務本部法要庶務部

目 次

1	法要基本事項について	1
2	団体参拝の概要について	3
3	団体参拝の募集告知・参拝申込み等に関するスケジュールについて	3
4	親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要 参拝センターについて	4
5	法要出勤について	4
6	教化団体等の参拝について	5
7	個人参拝の概要について	5
8	協賛行事等について	6
9	本願寺境内地施設等について	6
10	本願寺飛地境内地への参拝について	7
<参考>		
1	親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要趣意書	9
2	一慶讃法要の趣意 付帯事項一 親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要及び関連諸行事を進 めるにあたって	11

この団体参拝募集要綱は、宗派公式 Web サイト (<https://www.hongwanji.or.jp>)
からダウンロードいただけます。

親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要に関する情報は、
こちらから読み取ってください。



この「親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要団体参拝募集要綱」は、2023(令和 5)年にお迎えする親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要に向けた団体参拝の募集にかかる基本的な事項をまとめ、告知するものであります。その他、関連事項及び具体的な事務手続き等については、別途「手引き」等をもって 2021(令和 3)年 5 月頃に告知するものいたします。

1 法要基本事項について

(1) 修行期日

2023(令和 5)年

第 1 期	3 月 29 日(水)～4 月 3 日(月)	6 日間	
第 2 期	4 月 10 日(月)～4 月 15 日(土)	6 日間	
第 3 期	4 月 24 日(月)～4 月 29 日(土)	6 日間	
第 4 期	5 月 6 日(土)～5 月 11 日(木)	6 日間	
第 5 期	5 月 16 日(火)～5 月 21 日(日)	6 日間	5 期 30 日間

(2) 法要時間

午前の座 午前 10 時

午後の座 午後 2 時 <1 日 2 座>

但し、5 月 18 日から 21 日の 4 日間については、1 日 1 座<午前>とし、4 月 29 日、5 月 6 日及び 5 月 7 日の法要時間については、別に定めます。

<参考>

①4 月 29 日、5 月 6 日及び 5 月 7 日は、宗門内外を問わず、特にこれまで仏教や浄土真宗の教えにあまり親しみのなかった方々にも参拝いただける法要行事の企画を予定しています。

②5 月 18 日及び 5 月 19 日は、幼児を主対象とした法要行事の企画を予定しています。

③5 月 20 日は、龍谷総合学園の学生・生徒を主対象とした法要行事の企画を予定しています。

※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

(3) 基本日程

時間	内容	場所
5:30	開門	
6:00	晨朝	両 堂
9:35	日程説明 記念布教 挨拶	御 影 堂
10:00	慶讃法要<午前の座>	御 影 堂
引続き (11:45 頃)	帰敬式	阿弥陀堂
12:30		
13:35	日程説明 記念布教 挨拶	御 影 堂
14:00	慶讃法要<午後の座>	御 影 堂
引続き (15:45 頃)	帰敬式	阿弥陀堂
引続き (16:30 頃)	日没勤行	両 堂
(17:00 頃)	閉門	

【帰敬式について】

○慶讃法要の午前の座・午後の座に引き続き、1日2回(午前11時45分頃・午後3時45分頃)執り行われます。

○次の法要期日は、平常時の帰敬式時間(晨朝後・午後1時30分)をもって執り行われます。

①4月29日(土) ②5月6日(土) ③5月7日(日)

④5月18日(木) ⑤5月19日(金) ⑥5月20日(土)

○5月21日(日)は、晨朝後の帰敬式のみ執り行われます。

※帰敬式の申込方法等につきましては、2021(令和3)年5月頃に、別途お知らせいたします。

2 団体参拝の概要について

(1) 団体参拝は、5期30日間のうち、次の6日間を除く24日間47座(教化団体等の団体参拝日を含む)について、募集いたします。

- ①4月29日(土) ②5月6日(土) ③5月7日(日)
④5月18日(木) ⑤5月19日(金) ⑥5月20日(土)

(2) 団体参拝は、原則として「組」又は「寺院」を中心に編成いただきます。

- ①組を中心に編成する団体参拝を「組参拝」といたします。
②寺院を中心に編成する団体参拝を「寺院参拝」といたします。

団体参拝は、1つの組又は寺院が複数回に分け参拝団を編成することや、複数の寺院が合同で参拝団を編成することができます。

(3) 参拝席は、御影堂に約1,200席～1,400席を配置し、団体参拝席(椅子席)を割り当てます。

(4) 法要参拝における懇志については、特に金額を定めておりませんが、進納の奨励をお願いいたします。

3 団体参拝の募集告知・参拝申込み等に関するスケジュールについて

2020(令和2)年10月

(1) 団体参拝の募集告知

2020(令和2)年11月

(1) 教区参拝割当人数及び参拝日(座)の決定

- ① 団体参拝会議(教区事務担当者会議)において、教区毎の参拝割当人数及び参拝日(座)を確定し、各教区法要事務所に依頼いたします。

(2) 教区法要事務所と組事務所間の調整<調整期間：2021年9月迄>

- ① 教区法要事務所は、教区毎の参拝割当人数及び参拝日(座)をもとに組事務所と調整し、組毎の参拝割当人数及び参拝日(座)を決定します。
② 組事務所は、組毎の参拝割当人数及び参拝日(座)をもとに組内寺院の参拝について、募集を行います。
③ 組事務所は、組参拝又は組内寺院の寺院参拝について、教区法要事務所に申込みを行います。
④ 教区法要事務所は、組事務所からの申込状況をもとに各組事務所間の調整を行います。

2021(令和3)年10月

(1) 団体参拝一次募集受付開始<申込期限：2021年12月迄>

- ① 教区法要事務所で取りまとめた組参拝又は寺院参拝については、適宜、中央法要事務所(法要庶務部・参拝センター)に申込みを行います。

2022(令和4)年2月

(1) 団体参拝二次募集受付開始<申込期限：2023年3月迄>

- ① 一次募集の結果、参拝席に空席がある場合は、その参拝日(座)に限り、中央法要事務所(法要庶務部・参拝センター)より、寺院参拝の公開募集を行います。

4 親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要参拝センターについて

(1) 参拝にあたって、取扱旅行会社等への対応窓口の一元化を図るため、2021(令和3)年8月頃に親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要参拝センターを設置いたします。

※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

(2) 参拝センターの運営にあたっては、取扱旅行会社及び関係機関との連絡・調整をはじめ参拝者受け入れにかかる諸情報の管理・提供業務を協力して行うため、「幹事会社」を指定いたします。

(3) 参拝者の旅行手配を取り扱う旅行会社及びバス会社等は、「参拝協力会社」に登録し、慶讃法要その他関連行事にかかる参拝者を安全かつ円滑に対応するため行程の諸調整を行っていただきます。

5 法要出勤について

このたびの慶讃法要に際し、2021(令和3)年度中に新たな法要作法を制定いたします。法要出勤の募集、衣体、資格等詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

6 教化団体等の参拝について

法要期間中の教化団体等の団体参拝については、次のとおり予定いたしております。

- | | | |
|------------------------------|----------|-----------|
| (1)少年連盟団体参拝 | 3月29日(水) | 午後の座 |
| (2)スカウト指導者会団体参拝 | 3月31日(金) | 午後の座 |
| (3)門徒推進員団体参拝 | 4月10日(月) | 午前の座 |
| (4)仏教壮年会連盟団体参拝
仏教青年連盟団体参拝 | 4月15日(土) | 午後の座 |
| (5)仏教婦人会総連盟団体参拝 | 5月10日(水) | 午前の座・午後の座 |
| | 5月11日(木) | 午前の座 |

※教化団体等の団体参拝につきましては、各記念行事等の案内とともに、各教化団体担当事務局から別途お知らせいたします。

7 個人参拝の概要について

このたびの慶讃法要では、特に若い人やこれまで仏教や浄土真宗の教えにあまり親しみのなかった方々にも参拝いただけるよう、個人参拝の公開募集を行います。なお、個人参拝の申込受付は、2022(令和4)年4月頃の開始を予定しております。

- (1)個人参拝は、宗門内外を問わず、参拝センターを通じて参拝する個人を対象といたします。なお、旅行会社等を通じたグループ・ツアーによる参拝も同様に募集いたします。
- (2)個人参拝は、原則、すべての法要期日、座について募集いたします。
- (3)法要参拝における懇志については、特に金額を定めておりませんが、進納の奨励をお願いいたします。

※個人参拝申込みに関する詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

8 協賛行事等について

法要期間中、4月29日(土)、5月6日(土)及び5月7日(日)については、本山における協賛行事を予定しています。

※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

【真宗教団連合記念行事のご案内(予定)】

真宗教団連合では、宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年・真宗教団連合結成50周年記念事業の一環として、「親鸞聖人生誕850年『親鸞展 生涯と名宝』」(仮称)の開催に特別協力いたします。この行事では、各派が所有する親鸞聖人ゆかりの法宝物等を展示し、ひろく一般に公開する予定です。

<会期>2023(令和5)年3月25日(土)～5月21日(日)

※期間中、毎週月曜日は休館となります。

<会場>京都国立博物館 平成知新館

<主催>京都国立博物館、朝日新聞社、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿

9 本願寺境内地施設等について

(1)北境内地駐車場

参拝にあたっては、できる限り公共交通機関の利用をお願いいたします。なお、貸切バス(大型・中型・マイクロバス)を利用して参拝される場合は、必ず参拝センターを通じて事前に申込みください。また、参拝当日は、北境内地駐車場での乗降及び駐車となります。但し、混雑状況により、バスを回送いただくことがありますので、予めご了承ください。

※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

(2)休憩施設

参拝者用休憩施設として、北境内地においては聞法会館、本刹境内地(白洲)においてはテントを設置いたします。なお、休憩施設は、団体参拝、個人参拝の方々が利用できるものといたします。(昼食を除く)

※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

(3)昼食及び昼食会場

昼食は、各参拝団で自由に設定してください。なお、本山での昼食会場は聞法会館を利用いただくこととなりますが、席の事前予約が必要となります。これには、指定された業者への昼食の申込みが必要条件となります。また、多くの方々が利用されますため、状況によって

施設の利用時間を調整させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

(4) 参拝記念写真

参拝記念写真は、本刹境内地(白洲、唐門周辺等)で撮影いただく予定としております。

※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

10 本願寺飛地境内地への参拝について

(1) 大谷本廟への参拝

① 参拝について

○参拝時間 9:00~17:00 ※法要期間中

○開門時間 5:30 / 閉門時間 17:00

○受付

混乱を避けるため、団体参拝専用受付の設置を予定しています。

○所要時間

・参拝のみ 約50分(団体参拝バス乗降時間を除く)

・納骨 約70分(団体参拝バス乗降時間を除く)

※御茶毘所へ参拝される場合は、上記の時間に加えて30分程度要します。

※特に、土日祝日は、多くの参拝者で終日混雑が予想されますので、時間には十分な余裕を持って参拝ください。

② 納骨手続きについて

祖壇納骨及び無量寿堂納骨の申込みについては、所定の手続きが必要となります。詳細につきましては、2021(令和3)年5月頃に、別途お知らせいたします。

③ 永代経について

永代経懇志は、3万円以上の懇志をお願いしています。なお、永代経開闢法要(永代経懇志を進納後、初めて参拝いただく法要)は、団体毎に一括し、納骨のお勤めと併修いたします。また、別修永代経については、希望により、後日、開闢法要をお勤めいただけます。

④ 団体参拝バスについて

○バスは、大谷本廟南側道にて乗降いただきます。

○バスは、降車後指定場所に回送し、出発時間に迎車となります。

○参拝が集中する時間帯は、時間調整をお願いすることがありますので、予めご了承ください。

※詳細につきましては、決定次第、別途お知らせいたします。

(2) 日野誕生院への参拝

① 参拝について

○参拝(受付)時間 9:30～15:30

○参拝案内 係員による日野誕生院の説明を行います。

○所要時間 ・約20～30分(団体参拝バス乗降時間を除く)
・隣接する法界寺へ参拝される場合は、上記の時間に加えて約20～30分程度要します。

※法界寺への参拝を企画されます場合は、中央法要事務所(法要庶務部、2021年8月以降は参拝センター)にお問い合わせください。

② 団体参拝バスについて

○隣接する誕生院保育園園庭で乗降・駐車いただきます。(最大2台)

○周辺道路は、幅員が大変狭い生活道路であり、路線バスも通行しています。必ず係員の指示に従って通行・駐車をお願いいたします。

○バスが2台以上の駐車となる参拝団につきましては、事前に振り分けいたします。また、参拝が集中する時間帯は、時間調整をお願いすることがありますので、予めご了承ください。

(3) 角坊への参拝

① 参拝について

○参拝時間 9:00～16:00

○参拝案内 係員による角坊の説明を行います。

○所要時間 約20～30分(団体参拝バス乗降時間を除く)

② 団体参拝バスについて

○角坊境内地内指定場所で乗降・駐車いただきます。(最大3台)

○参拝が集中する時間帯は、時間調整をお願いすることがありますので、予めご了承ください。

※大谷本廟、日野誕生院、角坊への参拝については、法要参拝の申込みとあわせ参拝センターで受け付けます。なお、各所の収容規模や駐車場の都合等を勘案し、参拝センターで日程調整を行うことがありますので、予めご了承ください。

親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要

趣 意 書

来る 2023（令和 5）年に宗祖親鸞聖人のご誕生 850 年を、また、その翌年には立教開宗 800 年をお迎えすることになります。つきましては、私たちの宗門は 2023（令和 5）年にその慶讃法要をお勤めいたします。

ものごとを自己中心的にしか考えられない私たちがこの世を生きることは苦悩そのものです。その苦悩を超えて生きていく道を教えてくださるのが仏法です。阿彌陀仏は私たちに「どんなに孤独で苦しく悲しくとも、私はあなた方一人ひとりを、そのままに受けとめて、決して見放さない」との救いのメッセージを「南無阿彌陀仏」というみ名に込めて、よび続けておられます。そのメッセージをそのままに領き受けとめることが、私たちに届けられた真実信心となり、どのような状況におかれようとも揺らぐことのない尊い安心を頂くことになるのです。それこそが、さまざまな苦悩にも向きあって生きることのできる依りどころとなりましょう。そういう阿彌陀仏から頂いている御恩への感謝の言葉がお念仏であり、その救いの在り方を、念仏者の生き方として私たちにわかりやすく、しかも体系立てて説き示してくださったということが、浄土真宗にとって親鸞聖人による「立教開宗」の意義であります。

遙か 2500 年前、釈尊は、「諸行無常」と「縁起」という、この世界と人間のありのままの真実を見抜かれました。さらにそのような在り方のなかには、変化しない実体的な自我など存在しないにもかかわらず、人びとは自ら仮想した自我に執われ、限りない欲望に基づいて、自らに苦しみを、そして世界にさまざまな争いを引き起こしていることを明らかにされました。これは、現代にもそのままに通じる現実です。

およそ 800 年前、親鸞聖人は、自己の在り方を深く省みて、私たち人間とは自己中心的な思い、煩惱からいかにしても抜け出ることのできない存在であると気づかれました。しかし、そういう煩惱に突き動かされる私たち誰にも、誰ひとり取り残すことなく尊い安心を与えようとはたらき続けている阿彌陀仏の願いに出遇われたのでした。そのことを身を以て私たちの生き方として示してくださったのが親鸞聖人です。その親鸞聖人の説き示してくださった浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、今の私はあり得なかったという聖人への感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝する慶讃法要をお勤めするのです。

きて、現代世界は、社会・国家のレベルでは自国の経済や文化を優先する排他的で閉鎖的な在り方が優勢となり、それにより国際的にさまざまな対立や紛争が起こっています。また個人レベルでは、自己努力と自己責任という名目のもとに、共に生きるという価値観が薄らぎ、孤独・孤立が深刻な問題となっています。こうした人類の破滅をももたらすような閉塞した現代世界の方向性を、互いに響き合っ
て生きていける方向へと転換し逆転させていくことは、世界のすべての宗教が果たすべき役割です。しかしながら、日本のみならず世界各地域では硬直した宗教からの離反現象が広がりつつあり、宗教は、その役割を十分に果たせているとはいえません。

このような状況のなか、今こそ、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現」を理念とし、仏道の基本を踏まえて人びとと共に歩む私たち念仏者の果たすべき使命は、かけがえのない、大変に重いものです。

今回の慶讃法要に向けて、「世のなか安穏なれ、仏法ひろまれ」との親鸞聖人のお言葉を胸に、地道にその役割を果たすべく、精一杯精進してまいりましょう。

2019（令和元）年8月

浄土真宗本願寺派
龍谷山 本願寺

親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要 及び関連諸行事を進めるにあたって

このたび、親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要の趣意書を起草するなか、宗門が慶讃法要の在り方及び関連諸行事を考え、企画するうえからの課題として、主要な点を次のとおり掲げました。

【大きな感動につながる法要を】

そもそも慶讃法要は、「法縁」によって同じ道を歩む人たちが繋がる喜びを再確認し、実感する場です。今回の慶讃法要は、特に若い人や、これまで仏教や浄土真宗の教えにあまり親しみのなかった方々へ、新鮮なメッセージをおくる絶好の機会にしなければなりません。そこにもまた、今回のような大きな法要を営む意義があります。従って、それに相応しい儀礼性を具えつつ、大きな感動を感じていただけるような法要の在り方を工夫することが大切です。

【伝わる伝道を】

真実信心を正しく、わかりやすく、ありがたく伝えることが伝道の基本であり、儀礼や音楽の有効性を踏まえたうえで、伝道教団であるからにはやはり「言葉」は大切です。ご法義そのものは時代を超えるものですが、時代の状況や人びとの意識に応じた伝道の方法は工夫されるべきです。近年、指摘されているように「伝える伝道」から「伝わる伝道」へと本質的に転換していく必要があります。今回の慶讃法要を機に、宗門の内外に大切なメッセージを発信する文書でも、教理や教学の専門用語を、誰にでもわかりやすい言葉として紡ぎかえていく大胆な工夫をしていかなければなりません。

【「私たちのちかい」の普及を】

今回の慶讃法要に向けて、将来を担っていく若い世代へのより積極的な伝道を重視していくことが大切です。専如ご門主は 2018（平成 30）年の「秋の法要」で、特に若い人や、これまで仏教や浄土真宗の教えにあまり親しみのなかった方々に向けて、「念仏者の生き方」の肝要として「私たちのちかい」を示されました。この「私たちのちかい」は、日々の生活のなかでの私たちの在り方を易しい言葉で 4 カ条にまとめられたものです。ご門主のお心を真摯に受けとめ、特に今回の慶讃法要に向けて、誰にでも理解しやすい言葉で述べられた「私たちのちかい」があらゆる場面で、多くの人びとに唱和していただけるよう、その普及に努めていきましょう。

【社会に開かれた宗門へ】

これまでしばしば指摘されながらも、なかなか改善されてこなかった「開かれた宗門」への脱皮という課題があります。そもそも出家主義の仏教とは異なり、この世俗世界で仏道を歩むという念仏者の在り方は、「生きとし生けるものと共に生きていく」という大乘仏教の理想を実現していく道です。阿弥陀仏の教えに出遇えた私たちは他者の苦しみや悲しみに無関心ではられません。この他者への思いが基本にあってこそ、仏法に基づく仏教者の社会参画や社会貢献を実現し、公共性や公益性という社会的な要請にも応えうるのです。今回の慶讃法要をよき機縁として、より多くの人びとと心を開いて共に生かされて生きることの尊さと、喜びを伝えうる開かれた宗門へと脱皮していきましょう。

【具体的な社会実践として】

私たち宗門は長年、社会実践のひとつとして平和問題に取り組んできました。特に、戦後 70 年を機縁に平和に関する学びを深めるなかで、私たち誰もが取り組める平和への具体的な貢献策として、「貧困の克服」に向けた実践運動を展開しています。これは、「自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」という宗門の基本理念と軌を一にするものであります。

さらに他の宗派に先駆けて、国際連合が提唱する SDG s（持続可能な開発目標）にも注目してシンポジウムなどを開催してきました。SDG s の基本理念は「誰一人取り残さない」ということであり、「十方衆生を救うという阿弥陀仏の大悲の教え」と親和性があります。

これからも仏法に基づき、宗門内外の人びとと連携しつつ、SDG s をはじめとした社会の課題に取り組むことで、開かれた宗門を目指してまいりましょう。

発行：親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要
中央法要事務所 法要庶務本部法要庶務部
600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派宗務所
TEL075-371-5181(代表)
発行日：2020(令和 2)年 10 月